

第4回東戸塚小学校過大規模校対策検討部会 会議録

日 時	令和6年1月15日(月) 18時00分～19時15分
開 催 場 所	東戸塚小学校
出 席 者 (15名)	川畑部会長、中山副部会長、坂間委員、山本委員、青山委員、加藤委員、保科委員、森田委員、小野委員、岡部委員、高杉委員、植野委員、山手委員、小佐野委員、岩田委員
欠 席 者 (0名)	
事 務 局	教育委員会事務局学校計画課 大塚担当課長、杉谷担当係長、福田、井川、板垣
関 係 課	教育委員会事務局教育施設課 赤羽担当課長、田島計画推進係長、永山整備係長 教育委員会事務局南部学校教育事務所指導主事室 河原指導主事 戸塚区区政推進課 雨堤課長、織地まちづくり調整担当係長 戸塚区子ども家庭支援課 畠山学校連携・子ども担当課長、清家担当係長
開 催 形 態	公開(傍聴者0人)
議 事	1 検討部会から提出する意見書案について
決 定 事 項	・検討部会の審議結果をまとめた意見書が確定し、横浜市学校規模適正化等検討委員会へ提出することを確認しました。
議 事 等	<p>(事務局から「資料4 事務局に寄せられた御意見等一覧」について説明)</p> <p>(部会長) 資料4について、回答した内容に再意見はありましたでしょうか。</p> <p>(事務局) 改めての御意見はいただいております。</p> <p>(部会長) 分かりました。委員の皆様のなかで、何か参考意見等ありますでしょうか。</p> <p>(委員) 資料4でいただいた御意見の中の運動会についてですが、今年度の運動会は午前中開催でした。その後、アンケートを取ったところ、大変好評でした。徒競走もこれまででは1～6位まで並んでもらっていましたが、6年生がゴールした児童をそのまま座席まで連れて行くようにしたところ、時間がこれまでの半分程度に短縮されました。また、暑さ対策については、6月から10月に時期を変えたので、むしろ寒いかなと心配をしていました。学校でも改善の努力をしています。</p> <p>文科省が挙げている過大規模校の課題である、行事の際に子どもの役割がないことや異学年交流の機会が少ないこと、人間関係の希薄化、問題行動の増加ということに関しては、保護者にアンケートをとっており、そういった過大規模校の課題を東戸塚小学校ではクリアできていると感じています。今後、その結果を保護者に伝えて、学校運営協議会でも伝えていくつもりです。</p>

(委員)

資料4でいただいた御意見の中に、舞岡小との通学区域変更についての意見がありました。保護者の中には、子どもたちの安全のために、指定地区外就学制度で東戸塚小学校に通わせたい、という方が一定数います。一方で、現在は舞岡小学校も学級数がひっ迫しており、教室数に余裕がありません。グラウンドも余裕がないため、舞岡小学校との間での通学区域変更はかなり厳しいと思います。東戸塚小学校も学級数の増加が懸念されていますが、舞岡小学校も厳しい状況です。可能なら、その点もこの方にお伝えできたらと思います。

(部会長)

それでは、次第4の議題に入りたいと思います。まずは事務局から説明をお願いいたします。

1 検討部会から提出する意見書案について

(事務局から「資料5 意見書案」について説明)

(部会長)

資料5の意見書案が審議会である「横浜市学校規模適正化等検討委員会」に提出となるため、この案について御意見、御質問ありましたらよろしく願います。意見が無ければ、意見なしでも結構です。

(委員)

今までの皆さんの御意見を十二分に考慮し、また校長先生が先頭に立っていい学校運営をしていくにあたって、ぜひいい教育環境をつくっていただきたいと思います。

(委員)

学級数の増加を考えると、時間との戦いになるため、早めに進めていただきたいと思います。

(部会長)

意見書案については、御意見、御質問ありませんか。

(委員)

特にありません。

(部会長)

分かりました。ありがとうございます。

(委員)

意見書案については、特にありません。ただ、東戸塚小学校分校について、立地条件から見ても、ぜひ高層化でやっていただきたい、というのが私の意見です。

(委員)

意見書案のまとめ、ありがとうございます。これまでの検討部会の議論の伝えるべきところが的確に書かれていると思います。

質問は、意見書案の「7(1) 老朽化対策の完了後に分校設置となることから」というフレーズについて、老朽化対策と大規模校対策は別のものであり、老朽化対策中の配慮をお願いしているという理解でよろしいでしょうか。

(事務局)

まずは、将来的に東戸塚小学校の児童数が増えていく見込みであるため、単独整備案、分校設置案、分離新設案の3案の中で過大規模校対策の大きな方向性を皆さまに御議論いただいたところです。

併せて、東戸塚小学校の校舎は老朽化が進んでいるため、建替え、もしくは第1回検討部会で説明しました長寿命化等の将来に向けた対策も行っていく必要があります。過大規模校対策と校舎の老朽化対策を同時並行で進めなければいけない学校になっています。

過大規模校対策については、分校設置案という方向性でまとまってきました。今後、その方向性をもとに、どのように校舎整備をしていくのかということ、より本格的に検討していくこととなります。その老朽化対策の完了後に、分校設置ができるという形になります。それまで、当然、児童数も増えていくこととなりますので、必要な配慮をしっかりとくださいということをお願いいたします。

(委員)

分かりました。そうしますと、「東戸塚小学校は建替え等の大規模な対策の完了後」という文言でもよいですね。ただ、老朽化対策という言葉が少しわかりづらいと思いました。

(部会長)

分校設置までに何年もかかり、これから施設の検討に入っていきますが、災害時の対応等の様々な課題を考慮していく必要があります、表現としては老朽化対策を残しておいた方がよいと思います。

(委員)

分かりました。ありがとうございます。

(委員)

特に意見はありません。本日を含めた全4回の検討部会の意見がよくまとめられている意見書案だと思います。

(委員)

意見書案「7(1) 教職員の配置等でも配慮をお願いします。」という箇所についてですが、「等」の部分に何が入るのでしょうか。「教職員の配置、学校予算等」といった記載にした方が検討部会の議論の内容がより反映されるのではないかと思います。

ました。

(部会長)

この意見はできれば意見書への反映をお願いします。予算だけではなく、先生方の人員の問題も重要だと思います。後ほど校舎整備の考え方について説明をしていただきますが、その点も参考にしてもらえればと思います。

(委員)

先ほど質問があったところをもう一度確認したいのですが、老朽化というのは、こういう建物をつくりますよというのが決まるまでの間も、この老朽している建物を放っておくのではなく、児童が安全に過ごせるようにメンテナンスを続けていくという意味もあるのですよね。

そして、「7(2) 分校とし管理区分が分かれても、積極的に交流を図るなど」というのは、学校運営としての交流ももちろんですし、建物自体も子どもたちが交流しやすいように考えて設計をするということでしょうか。

(部会長)

当然、そういう提案をしていかなければいけないと思っています。

(委員)

分かりました。ありがとうございます。

(委員)

質問が1つだけあります。7(1)に議論が集中していますが、私は少し論点が違っていて、「必要な施設整備を行い」という箇所について、例えばプレハブ校舎を建てることなどが想定されるということなのではないでしょうか。

(部会長)

様々な部局が今から動いていきますので、プレハブだけではなく、防災等に関する面もあるかとは思いますが。その際も、地域や保護者の危惧に十分配慮しながら進めてほしいと思っています。

(委員)

分かりました、同意見です。ありがとうございます。

(委員)

意見書案を作成していただき、ありがとうございます。拝見させていただきましたが、私からは特段、意見等はありません。

(委員)

「3 過大規模校対策の手法」について、そういうものでしたら構わないのですが、分校設置にした理由を書いておく必要はないのでしょうか。児童を見る教職員の数が必要なので分校設置案を選んだことや、通学区域については、東戸塚小学校に通いた

いという保護者の意見もあり、通学区域は変えないといった理由は書かなくていいのでしょうか。もしくは添付資料が何かつくのでしょうか。

(部会長)

私の想定ですが、審議会や教育委員会には、事務局から検討部会ニュースや会議録等でしっかりと報告されていると思っています。そうすると、要点のみを簡潔に示すべきであると考えています。

(事務局)

今、部会長から話がありましたように、先ほど検討部会ニュース第1号で改めて説明させていただいた審議会、私たちは親会と呼んでいます。こちらの親会の方で、東戸塚小学校の検討状況についても、私たち事務局から今このような状況で検討を進めています、ということに適宜御報告させていただいています。検討部会ニュース等も親会委員の方に配付し、中身については御説明させていただいていますので、意見書は全体としての意見を簡潔に取りまとめたものと御理解いただければと思います。

(委員)

分かりました。では、この表現で大丈夫です。ありがとうございます。

(委員)

これまで3回開催した検討部会が、ここに1つにまとまっているなど感じております。東戸塚小学校の児童数は今年度当初は1,025名でしたが、令和6年1月5日時点で1,080名となっていますが、これから1,100名程度まで増えるのではないかと想定しています。既に東戸塚小学校は過大規模校の状態です。委員の皆さまに検討部会としての意見をまとめていただきましたが、必要な施設設備やプレハブ校舎、それから教職員の配置に関しても、分校設置となるまでの間、十分とはいえない状況です。既に職員室も極めて手狭な状況で、非常勤の職員は一つの机に二人座ったりしています。施設整備や教職員配置、学校運営費を配慮していただき、来年度からも児童にとって十分な教育環境を提供していきたいと考えています。学校の運営方針として、「子どもたちの今と未来に幸せを提供する東戸塚小学校」というテーマを持っています。それと同時に今の子どもたちもそうですし、未来の子どもたちの夢の学校をつくりたい、という強い思いを持っていますので、ぜひとも皆様、引き続きお願いいたします。

(部会長)

ありがとうございます。今だけではなく来年度、再来年度も恐らく児童数が増えるかと思えます。次々とマンションが建ってきており、児童数が1200人、1300人になる可能性もあります。そのため、委員の皆さまから多数の御意見をいただいた意見書案の「7(1)」について、しっかりと伝えていきたいと考えています。

(委員)

意見書案は的確にかつ簡潔にまとまっていると思います。やはり、「7(2) 積極的に交流を図る」について、非常に大切なことだと思っています。小学校もそうですが、中学校でも子ども同士の交流による成長を感じています。教員があれこれ言う

よりも、子ども同士での交流の方が子どもたちの成長にとっては重要だというのが実感としてあります。この後、積極的な交流というのは、様々な形で行われていくと思いますが、ぜひ大切にしていいただければと思います。

(委員)

よくまとまっていて、分かりやすい案に仕上げていただいたと感じています。近隣の中学校の状況も引き続き、注視いただければと思います。

(委員)

意見書案「4 通学区域」について、特別調整通学区域の設定を検討した地域は従来から戸建て住宅が中心で、子育てが終わった世帯も多く、極端に児童数が増える状況にはありません。一方、今空いている地域で大規模なマンションが建つと、また児童数が増えてくると思うので、東戸塚小学校はある程度、大規模な校舎に整備しなくてはならないと思います。今回、意見書案としてまとめた内容がベストだと思います。

また、隣の戸塚小学校も戸塚駅から近いこともあり、どうしても同じように子育て世帯が集中してくると思います。そのため、長い目で見、投資をするところには投資して、改善するところは改善して、あるべき姿をつくっていくことが大事だと考えており、よい案になったと思っています。

(部会長)

ありがとうございました。基本的にはこの案を進めたいと思うのですが、先ほど御提案のありました「7(1)」に「教職員の配置並びに予算等で配慮をお願いします。」などと追記したいと思いますが、いかがでしょうか。

<賛同>

(部会長)

他に質問がなければこの案で決定したいと思います。よろしいでしょうか。

<賛同>

(部会長)

ありがとうございました。では事務局からこの件で何かありますか。

(事務局)

ありがとうございます。この意見書につきましては、検討部会終了後に横浜市学校規模適正化等検討委員会という審議会に提出いたします。先ほど御議論いただいた内容に基づいて、意見具申を行っていきたいと思います。横浜市学校規模適正化等検討委員会提出の前に、もし細かな点で修正すべき内容があった際は、部会長及び副部会長に一任していただくような形で進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

<賛同>

(部会長)

恐らく、先ほどの追加項目だけだと思いますけれども、私と副部会長で内容を再度見まして、それで提出したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

このように決定いたしましたので、その他ということで今後の予定や質問事項につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

毎回発行している部会ニュースについてですが、これまで部会開催から2か月程度で配付していたのですが、今回は審議会を経てからという形になりますので、4月以降に配付となる旨をお伝えさせていただきます。

また、本検討部会としての意見書の内容は概ね固まりました。次のステップは、施設整備の検討になりますが、学校を整備するための前提条件や考え方、検討の流れについて、簡単に御説明させていただきたいと思います。

では、教育施設課から資料6と7の説明をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(教育施設課より資料6及び資料7について説明)

(部会長)

ありがとうございました。学校を建てる時は1回だけで、運用は10年、20年、30年と運用しますので、ぜひそのメンテナンスのことも考えながら、設計をやっていただきたいと思っています。

後は、皆さん意見がありましたように、子どもたちのためにどういったことをやっていったらいいのか、若しくはどのような設備が必要なのか、このなかにも書かれていますが、ぜひ、そういった意見をお願いしたいと思っています。

では、最後になりますが、事務局から何かありますか。

(事務局)

それでは最後に、検討部会終了にあたりまして、部会長に一言、御挨拶をいただければと思っております。部会長、お願いできますでしょうか。

(部会長)

検討部会は本日で終了となります。検討部会は約半年ほどですが、私は一昨年から約2年に渡って関わってまいりました。今後、どのように施設整備を進めていくのか、地域としてどのように関わっていくのかは、これからの話になりますが、まずは審議会に出席しまして、検討状況をしっかり報告していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。本日はどうも、ありがとうございました。

(事務局)

御挨拶ありがとうございました。

昨年4月に、東戸塚小学校の体育館で昼の部、夜の部と2回、説明会を開催させていただきました。各回100人くらいの地域、保護者の方にお越しいただき、また、たくさんの御質問、御意見をいただきまして、私も非常に身が引き締まる思いでした。

	<p>その説明会のときにも、検討部会ではどれくらいの期間をかけて議論するのですかということは何回か御質問いただきましたし、実際に検討部会が始まってからも、早く方向性を示して次のステップに進んでほしいという皆さんの思いを強く感じました。</p> <p>検討部会では、積極的な意見交換をしていただきまして、4回の部会で意見書を取りまとめていただいたことについて、私どもとしては大変感謝申し上げているところでございます。方向性について取りまとめていただきましたので、今後は具体的な施設整備の検討に入っていきます。検討部会でいただいた御意見は、可能な限り反映させてまいりたいと思います。</p> <p>また、折を見て皆さまにも、様々な場面で御意見等いただければと考えてございますので、今後も何とぞ御協力のほど、よろしく願いいたします。これまでどうも、ありがとうございました。</p> <p>(以上)</p>
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料 1 委員名簿 ・ 資料 2 座席表 ・ 資料 3 東戸塚小学校過大規模校対策検討部会ニュース第3号 ・ 資料 4 事務局に寄せられた御意見等一覧 ・ 資料 5 意見書案 ・ 資料 6 小学校施設整備水準 ・ 資料 7 横浜市立小・中学校施設の建替えに関する計画・設計の考え方 <p>【特記事項】</p> <p>なし</p>